**アニメーションの実験について**

・恋愛ストーリーでなくアクション系やサスペンス系などでまた変わって来るだろうと考えました。

・リラックス効果を測る場合は、映像を長め(10分以上)に流して計測した方が、緊張も長くなるしＥＤでのリラックス効果も得られるのではないだろうか。

・アニメは3話分くらいあった方が良いのではないかというのが面白い意見だなと思った。アニメは1話見て興味が引かれなくてもとりあえず3話までは見ろ、というのがあるくらいなので3話というのは良い塩梅なのではないかと思った。

・ワンクールなど長期的にアニメを見ることによってエンディングへの感情状態や生理指標が変化していると考えます。

・エンディングよりオープニングをやると違う結果になる可能性があるのとアニメーション時間が10分と短かったので長くして良かったのではないかというものでした。

・昔のアニメと今のアニメだとエンディングにある印象は、だいぶ違うのではと感じた。

・アニメの本編に対してエンディングが長すぎるという話になりました。

・敵と対峙した瞬間にエンディングに入るアニメでは、続きが気になったり、アニメのワンシーンが映えたりするのではないかと考えた。その例としてHUNTER×HUNTERというアニメではそういうシーンが多く、余韻に浸れるシーンが多いです。<https://youtu.be/lP5b1G0kz0Q>

・エンディングはみている人を安心させるという効果がみられたということで、個人的にとても納得しました。例えば、映画を観ている最中はドキドキやハラハラなど感情が忙しいですが、エンドロールの時点では曲と共に内容を振り返ったり曲に共感しながら感情移入したりします。

・映画などの長い間映像の場合には、長時間見続けた疲労感や、張り詰めていた気持ちなどを落ち着かせるという点においてEDが効果的なのではないかと思いました。つまり、EDはその作品の長さによって効果的であるかそうでないかが変わるのではないかと考えます。

・EDの映像がアニメの様に毎回同じ内容であればリラックス感情やそれに伴う測定結果が出るのではないかと考えました。逆に最終回でよく見られるED内でも話が進んでいたり、今までの総まとめの内容であったりすると、ポジティブ感情やそれに伴う測定結果が出ると考えられます。

・エンディングの要素や、エンディング中の過ごし方についてそれぞれ挙げてみた。結果、内容を考える時間（余韻や考察など）や、内容を追いかけ理解する集中力からの解放の時間などの要素があることを知り、エンディングの有無で効果を検証するのであれば、エンディングの前の内容に重要性があるのではないかと考えた。

**お菓子の効果について**

・お菓子の有無に関わらず、盛り上がりや時間の流れに大きく違いがないことに驚いた。甘味のあるコーンポタージュを飲むと安堵感がうまれるというのは、ほっと一息つけるという点で納得のいくものがあると個人的に思った。

・お菓子の実験では、お菓子が洋菓子や和菓子、スナック菓子などで結果が変わると思った。

・会話中においてお菓子を食べるタイミングや量の傾向を調べることはできないか。

・対話以外にも，お菓子を食べながら何かに取り組む状況はストレス負荷の有無を問わず色々なものがあると思うので(読書・PCによる作業・映像視聴など)，それらを課題として設ける実験も可能ではないか。

・知育菓子（ねるねるねるね、たのしいおすしやさん）などを用いると、お菓子を食べるまでの過程が長く、作り方を相談したりして会話を始めることができるので必然的に会話量は増えると思った。

<https://kitnet.jp/monogatari/play/809_oki.html>

・お菓子の有無に関する卒論でお菓子のジャンルを和菓子や洋菓子などのジャンル分けや知育菓子にしたらどんな結果になるだろうと言っていた人がいたので話をする中で話題として挙げやすいお菓子であるほど結果が変わりそうだと思いました。

・グループディスカッションの中で、知育菓子を使ったら会話が弾むのではないかという意見が出てやってみたいと感じた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d49b03cf0510f5e6e6bb34f7ef231b6ca4c437d8>

**実験に関して**

・欠伸をすると心拍が上昇するという話を聞いて、申し訳ないと思いつつも講義の最初の方で何回か試してみました。すると確かに上昇しており、少し感動しました。

**その他**

・接待の効果の話を聞いて、食事が億劫だと感じる人(食事の優先順位が低い人)でもそうなるのか気になった。

・接待中の食事に関しては、ポジティブ感情の想起による印象の向上も理由として挙げられますが、血糖値の上昇などによる判断力の低下もまた考えられると思いました。お酒は特にこの2つの特性が含まれていると思います。

・今回は2つとも挑戦的な内容で狙った結果は得られませんでしたが、課題点も多く見つけられたので、後続の人の参考になっていくと思います。またそう考えると、もし自分の実験が上手く行かなかったとしても過度に落ち込む必要はないと思えるようになりました。